

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2015 April 13

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粹・意気)ロータリーライフ」

NO.37

例会報告

●第2079回例会 平成27年4月13日(月)雨
〔4月15日(水)例会変更〕

●4月は雑誌月間

●6 RC (名古屋東・名東・千種・昭和・東山・和合)
合同例会 ホストクラブ:名古屋和合RC
12:30~14:00 ウェスティンナゴヤキャッスル



●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 103 (86) 名中 出席54名
出席率62.79% 修正出席率81.72%
(4月1日分)

●ビジター紹介(4/15ウェスティンナゴヤキャッスルへのビジター受付)
青山 毅君(福岡イブニングRC) 外15名

●ゲスト紹介

- ・旭酒造株式会社 代表取締役 桜井 博志氏
- ・名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 佐藤 宣之氏

●ニコボックス

「本日はお世話様になります。」

名古屋東ロータリークラブ

山田信二会長、奥村哲司幹事

名古屋名東ロータリークラブ

中村公彦会長、佐藤健五幹事

名古屋昭和ロータリークラブ

高柳 元会長、高橋 進幹事

名古屋東山ロータリークラブ

渡邊萬里会長、酒井 清幹事

「準備でご苦勞様でございます。」

名古屋千種RC 加藤重雄会長、小林英毅幹事

「合同例会で親睦を深めましょう!!」

吉田正道会長、亀井敏勝幹事、安井隆豊君

横井辰幸君、槇野智之君、野崎敏夫君

柏木順壺君、夏目 稔君、黒田史郎君

本多國泰君、今村孝治君、武藤 博君

福田哲三君、岩田玄知君、加治佐健二君

桑山卓也君、内間三好君、二村伝治君

上野山 進君、片桐寛治君、石川一郎君

梶田浩太郎君、小松佳史君、町田重夫君

小林小林利之君、坂倉弘康君、久保和彦君

花橋日出夫君、中浜明光君

本日のニコボックス	3件	83,000円
累 計	169件	2,164,000円

山田信二会長挨拶 (名古屋東RC)

まずは、ホストクラブの和合RC吉田会長はじめ各会員の皆様におかれましては、合同例会の設営・進行など、本当にご苦勞様です。また東山RCの松野ガバナー補佐におかれましては、東名古屋分区のガバナー補佐として1年間にわたる大役お疲れ様です。

さて、この6 R C合同例会は、1981年8月和合 R Cとの合同例会をスタートとし、1997年4月から、この6 R C合同例会となり、今回で18回目を数えております。普段お目にかかれない友人の方々にお会いできる唯一の会で、今日もたくさんの方々とお話して楽しむことを楽しみにしています。

当東クラブは55年の歴史を刻んでいます。おおらかで和気あいあいとした雰囲気クラブです。千田ガバナー時代に見せた結束力の強さと若い力のすばらしさが誇りです。その若い人が中心となり、グローバル補助金を活用したインド・プネ地域のIT教育の支援を展開中で、資材を購入し6つの学校に機材を運び込み、まさにスタートしようとしています。

関心をもって見てください、また何かお気づきの点がありましたらお教えください。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

中村公彦会長挨拶（名古屋名東 R C）

皆さんこんにちは。私は今年度名古屋名東ロータリークラブ本年度会長を仰せつかっております中村公彦と申します。本日は名古屋和合ロータリークラブ吉田会長、亀井幹事をはじめ親クラブでもあります和合クラブの皆様方にはお世話になりますどうぞ宜しくお願いします。

また本日は例年のごとく6 R Cの皆さんが一堂に集まり、交流する機会でもあります。

この貴重な時間を大切にしたいものです。ウエスティンナゴヤキャスルに来ますと名古屋城の雄大にそびえたつ景観が印象的です。特に春先の天気の良い日は、この上ない贅沢に感じます。残念ながら本日は菜種梅雨で名古屋城の桜の花びらが散りましたが、桃色の絨毯が所々に見ることが出来ます。

ちょうど昨日は時間がありましたので名古屋城本丸御殿への見に行く機会がございました。

皆様ご存知の通り1615年に尾張藩主の住まいとして建てられた書院造りの復元です。

木曾の檜を贅沢に使い、復元とはいえ随所に当時の状態を思い起こすには十分な見応えを伺うことが出来ます。建築物の保存と改修などはその時々可能な技術と当時の技術を融合していくものです。歴史を鑑みての皆様方にはお忙しい中でも、改めて行かれる機会をお勧めします。

最後になりますが次年度は我クラブが6 R C合同

例会のホスト役です。次年度クラブ会長の都築八千代から最後にご案内させていただきますが、多くの皆様のご出席をお待ち申し上げ、私のご挨拶にかえさせていただきます。

加藤重雄会長挨拶（名古屋千種 R C）

皆さん こんにちは。名古屋千種ロータリークラブの会長を仰せつかっております加藤でございます。

まずもって、本日の6 R C合同例会をホストクラブとしてご準備いただきました名古屋和合ロータリークラブの吉田正道会長、亀井敏勝幹事をはじめ会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

さて、千種区一番の繁華街といえば今池ですが、その昔は馬池といわれていました。その証に、今池ガスピルの東側りそな銀行の前にブロンズの馬が3頭います。そしてその東の方、地下鉄池下駅周辺は湿地帯で、池下の少し東側、料亭「松楓閣」の少し西に池があり、現在でもある蝮ヶ池とは違いますが、池がありました。西の方の馬池、池下の上の池、この間の田園が仲田です。

「松楓閣」は昔、中村会館でした。そして釈迦の骨が祭ってある日本仏教会が造った「日泰寺」、日本とタイ国の寺院を意味します。

尾張徳川藩の御狩場でした。その東側に、これまた名古屋を代表する歴史的建造物、中国孫文の弟子で南京政府樹立を考えた「汪兆銘」をかくまったとされる初代松坂屋社長伊藤次郎左衛門の造った揚輝荘。その東は、織田信長の父 信秀の居た末盛城、そして城山八幡宮、昭和の繁栄を記して作られた昭和塾堂、その後東の方は全て山です。城山、本山、唐山、そして東山。この東山の動物園は、現在名古屋東ロータリークラブの水野茂生さんの先祖が名古屋市に寄贈され、それまでは鶴舞公園にあった動物園を移動したものです。東山公園の東側の坂を登り星ヶ丘の方へ向かっていきますと、今は跡形もなくなっていますが、千種図書館、千種スポーツセンターの西側は大きな池がありました。新池と言っていました。今は池の中央を走っています。そして千種区の最後

星ヶ丘、“丘”は最近つけたものです。自由が丘、虹ヶ丘、藤が丘、宝が丘、昭和40年代だと思えます。土地区画整理組合の解散時に新たにつけた地名です。星ヶ丘は以前“瓶入”で井上一族の集落でした。今でも井上町として残っています。

高柳 元会長挨拶（名古屋昭和RC）

本日の合同例会の開催につき、大変お世話になりました和合ロータリークラブの皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

昭和クラブは、創立以来丁度1000回目の例会を去る3月10日開催いたしました。当クラブは平成4年5月に設立され、以来23年の間に通算1000回の例会を重ねてまいりました。1000回例会当日は、親クラブである東クラブから黒塗りの立派な箱に入った祝電を頂きました。

誠に有難うございました。また当日クラブ創立にご尽力くださいました東クラブ会員で、当クラブ特別代表の水谷守一様及び特別代表幹事の宇佐美嘉重様にお越しいただき、クラブ設立の苦労話をお聞かせいただきました。特に驚きましたのは、平成4年2月中旬に設立準備委員会ができてから僅か2か月足らずの間に65名の会員を集められ、創立に向けてのその他のさまざまな準備をも進められたことです。本来は1年位をかけて準備をされるとのことですが、その尋常ではないスピードと、東クラブの皆様の新クラブ設立に向けた素晴らしい情熱とエネルギーに感服した次第です。このご努力があってこそ今の昭和クラブが存在しているわけです。23年後になってしまいましたが、改めて感謝申し上げる次第です。当クラブはこれまでの例会1000回を積み重ね、ロータリーについての理解を深め、その精神を培ってきましたが、さらに今後先輩クラブをお手本に、また他のクラブの活動から刺激を受けながら更に精進してゆきます。

23年後には通算2000回例会が待っています。果たして現在のメンバー全員が宇宙人ではなく地球人でいられるかはいささか不安ではありますが、御年91歳の水谷特別代表を見習えば、何とか出席できるのではないかと思います。もしも力尽きた場合は、子クラブを設立し、名称を「昭和ロータリーあの世クラブ」として、親クラブの活動を陰から支え続けたいとも考えています。冗談はこの程度として、現実に戻りますが、当クラブの会員数は世界的な会員減少傾向と同様に減少し、一時50名を割り47名になった時もありましたが、会員の努力により何とか55名になりました。今年度は退会者ゼロで4名新会員が増えています。新会員の期待に反しないよう、更

に魅力あるクラブづくりをしたいと考えております。

渡邊萬里会長挨拶（名古屋東山RC）

先日のIMにおきましては、皆様方の全員登録、そして多くのご出席に感謝いたします。基調講演の名古屋市立大学医学部の竹山教授のお話はいかがでしたでしょうか？フィリピンでのVTT活動のこと、腹腔鏡手術のこと、詳しくお知りになれたのではないかと思います。私の席から皆様方のご様子をうかがっていましたが、皆様、熱心にお聞きいただけていただけていたようで、成功裡に終わったと安堵いたしました。

今年度、わがクラブの目標であるガバナー賞獲得の為、3つの課題が達成できました。

1) ロータリーデーの実施

RCCとの協賛で「桜まつり」を開催

2) 会員増強（純増3%以上達成）

31名→34名（3月末時点）

3) ロータリー米山記念奨学会への寄付

（一人平均20,000円以上）

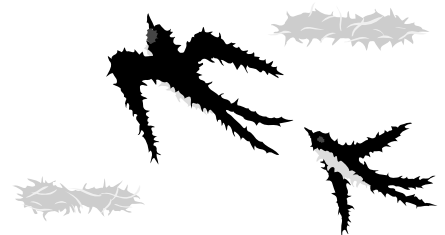
一人平均 38,941円

これを以て、ガバナー賞にエントリーいたしました。

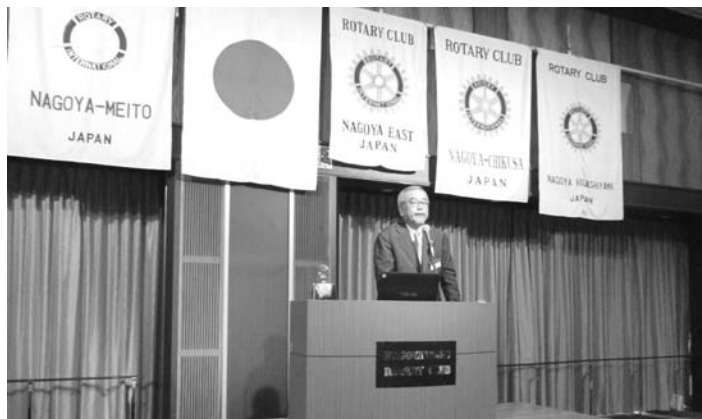
また、当クラブのホームクラブ例会出席率は非常に高く80%代後半から90%代です。勿論メーカーを含めずです。全員出席の例会も、今年度達成いたしました。

再来年は設立20周年を迎えます。その周年事業の計画も、もう立て始めました。なにか事業、行事があると皆一丸となって働きます。仲の良い、責任感あるクラブと自負しています。6RCの皆様方にもお認めいただき、更なる親交を深めていただけることを期待いたします。

最後になりましたが、親クラブであります和合クラブ様に感謝いたします。



ホストクラブ 吉田正道会長挨拶（名古屋和合RC）



“6 R 合同例会”

本日は、足元の悪い中、大勢の6 Rの皆様方にお集まりいただき感謝申し上げます。本日のホスト・クラブ、名古屋和合ロータリークラブは名古屋東ロータリークラブさんのお世話で創立以来43年を迎えています。本日は、卓話を設営しておりますので、クラブの紹介は、これに留めさせていただきます。

さて、事業および専門職務に携わる人の代表で構成されるロータリーのロータリーらしさの所以は、職業奉仕にあるといわれています。そして「奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎である」として個人生活、事業生活、社会生活に奉仕の理念を据え、実践することとしています。いっぽう日本では、「経済を忘れた道徳は寝言である。道徳を忘れた経済は、罪悪である。私利私欲に走るのではなく、社会に貢献すれば、いずれ自らに還元されるのだ。」と二宮尊徳は道徳と経済の融和・両立を唱えました。

名古屋和合ロータリークラブの本年の活動方針を「職業奉仕の原点に戻る」としてきました。厳しい現実には利己的欲求と奉仕の感情の間に葛藤を生じさせます。経営は、必ずしも理念通り事が運ばないこともあります。しかし、理念なき経営はいずれ限界を迎えるでしょう。

事業は継続・発展させねばなりません。このような視点から、本日は、旭酒造の桜井社長、名古屋大学の佐藤先生をスピーカーにお招きしております。「伝統の中の革新」、顧客、従業員、米生産者に喜びをもたらしている酒、「獺祭」の誕生秘話、今後の話は、おおいに参考になることと思います。どうぞお楽しみください。

講師紹介

旭酒造株式会社代表取締役

桜井博志（さくらいひろし）氏

1950年生まれ。

1973年松山商科大学経営学部卒、同年西宮酒造株式会社（現日本盛）入社。

1984年父の死去とともに旭酒造株式会社代表取締役社長就任、杜氏の廃止、四季を通しての生産など伝統の中革新を追求し、1990年『獺祭』を発売、2012年『獺祭 磨きその先へ』を発売。

名古屋大学大学院経済学研究科教授

（中部からのクールジャパン発信委員会座長）

佐藤宣之（さとうのぶゆき）氏

1965年生まれ。

1988年東京大学法学部卒、同年大蔵省（現財務省）に入省。

1997年ケンブリッジ大学経済学修士。名古屋国税局磐田税務署長、在シンガポール日本国大使館、OECD（経済協力開発機構）、内閣官房国家戦略室参事官などを経て、2012年より名古屋大学大学院経済学研究科教授。

●次期ホストクラブ挨拶

都築 八千代名古屋名東RC会長エレクト



例会	月日	今後の予定
第2080回	4.22	名古屋大学大学院生 チャン トウー チャンさん 「ベトナム人の見たカンボジア」
	4.29 5.6	祝日のため休会 例会はございません

○このウィクリーは再生紙を使用しております。